学校番号	３２３

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等	ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■表現及び鑑賞の活動において美術を形づくっている要素を知覚し、その働きを感じ取って表現することや、意図や根拠をもって美術のよさを視覚で表すことをめざす。

・授業の進め方は表現活動と鑑賞活動を並行して行う。発表会は随時行う。
・授業には積極的に参加し、アイデア段階から自発的に考え常に工夫し続ける姿勢を重視する。
・作品提出は期限をまもり、必ずすべてを提出する。必要に応じて補習を行う。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することをめざす。
【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し個性豊かで創造的に表現する技能を育てる。
【思考力、判断力、表現力等】美術の働きについて多面的に考え、主題を生成し創造的に構想を練り、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の幅広い創造活動に粘り強く取り組み、美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め心豊かに創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、感性を高め、新たな気づきや視点を表現に組み入れ、試行錯誤しながら粘り強く制作活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	美術制作に向けて	・オリエンテーション 教科書や授業作品等を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術2」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー 生徒同士でモデルをたて人物の10分程度で早描きをおこなう。 人体の構造の理解、骨格を意識する。	c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構図などを工夫している。 a:クロッキーする目的を理解し、素早く形体をつかみ鉛筆の特性を生かしながら的確に表現している。 b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている	・学習活動の様子 ・作品	・学習活動の様子 ・作品	・ワークシート ・鑑賞活動やグループワークの様子 ・作品
	デザイン・レタリングの基礎	・作図 ・レタリング ケント紙に定規で作図する。 ゴシック体・明朝体の特徴を正確に理解しそのポイントを押さえたレタリングを行う。 書体による見え方の効果や用法について理解する。	c: 作図やレタリングの基礎に関心を持ち、その用法を考えながら取り組めている。 b:条件や書体の特徴から、働きを考えて表現している。 a:ゴシック体と明朝体の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に制作している。	・作品	・学習活動の様子 ・作品	・学習活動の様子 ・作品
	情報を伝えるデザイン	・アイデアスケッチ レタリングと絵画表現を融合させ独創的な美しいアイデアを考える ・アイデアスケッチの相互鑑賞(班) ・彩色 アクリル絵の具やその他必要な素材等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	c:目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 b:伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。 a:情報を的確に伝えるために、形や色彩、文字などを効果的に用いることを理解している。 b:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている。	・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション ・作品	・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション ・作品 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言 ・ワークシート

夏休み	高校展鑑賞レポート	・高校展鑑賞レポート 夏休みの宿題 各自美術館に足をはこび、高校生の優れた作品を鑑賞する	c:各自が美術館におもむき、積極的に鑑賞しているか。 b:鑑賞の中で２学期以降の自らの美術制作に生かせる工夫を見いだせているか c:鑑賞での感動がしっかりと表現されたレポートが作成できたか。		・ワークシート	・ワークシート
2学期	人油絵発展　物を描く	・自画像 テーマ「わたしらしさ」 ・アイデアスケッチ 自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・プレゼンテーション ・制作 ・相互鑑賞	c:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。 b:想像力を働かせ、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、構成、色彩の工夫など表現の構想を練っている。 a:意図に応じて用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求した表現をしている。 b:作品のよさや美しさ作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション ・作品	・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション ・作品	・学習活動の様子 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言 ・ワークシート
3学期	生物を空想して	・アイデアスケッチ 教科書や映画、アニメーション、ゲームなどに登場する空想上の動物から作者の想像を読み取る。 ・プレゼンテーション ・制作 ・相互鑑賞	a:形や色彩の効果、既存の生き物や器物の特徴やイメージなどで空想の生物を捉えることを理解している。 b:空想の生物の能力や生息場所のイメージなどを基に、形体や色彩の効果などを考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:空想の生物の能力や生息場所のイメージを基に、形体や色彩などを考えて表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション ・作品	・アイデアスケッチ ・プレゼンテーション ・作品	・学習活動の様子 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度